

smile GEN navi

< ニッチがあったら何を置く？ ～壁の有効利用法～ >

ニッチとは、壁の一部を窪ませた部分のことで、狭い玄関や廊下などの殺風景な場所も、壁の厚みを利用してニッチを作ると、場所を取らずにインテリアが楽しめます。ニッチは、飾り棚として活用されることが多いですが、収納などの実用的な使い方も人気です。

今回は、住まいる玄の施工事例とともに、有効な利用法を紹介したいと思います。

飾り棚として

■玄関に

玄関ニッチには花を飾ったり雑貨を飾ったりすれば、彩りが加わります。お正月飾りやクリスマスツリーのような季節品を飾る場所としてもぴったりです。また、フックを取り付けて鍵掛けとして使用すれば実用性に加え見た目もスッキリします。



■ダイニングの横に

ダイニングテーブルの高さに合わせてニッチを設けて、写真や小物を飾ったり、カトラリーや調味料置き場として使うこともできますよ。



収納棚として

■スイッチボックス

電気のスイッチやインターホン、お風呂のボタンなど浅めのニッチにまとめると壁から出っ張らずにすっきりと納まります。住まいる玄では、キッチンまたはリビング周辺にスイッチボックスを作ることを標準仕様としています。



■本棚、マガジンラック

マガジンラックはキッチンカウンターの壁につくると使い勝手が良く便利です。新聞や雑誌はもちろん、写真集や外国の雑誌などを差し込んでもおしゃれですね！



■洗面道具の収納に

圧迫感を感じずに洗面道具を収納したり、洗剤を収納することができます。



殺風景になりがちな壁にニッチを設けるだけで、一気に華やかな空間になります。上部に照明をつけて、飾り物に光を当てるとギャラリーのような上品な雰囲気が演出できます。また背景の色や素材を変えたり、棚板を木にするかガラスにするかで印象はガラッと変わります。

飾りたいもの、置きたいものをイメージしながら、インテリアを楽しみましょう！

住まいる玄オリジナル 養生シートが完成！

工事現場に施工会社名などを掲示する、住まいる玄オリジナルの養生シートが完成しました！デザインは、フィンランドのファッションデザイナー・エリナヴァットさんによるものです。エリナさんはくまモンや加賀友禅とコラボレーションしたり、海外のコンテストで入賞したりと、新進気鋭のデザイナーです。エリナさんがデザインの勉強のために鹿児島に留学していた頃からの付き合いで、今でも来日の度に事務所に来てくれます。

日本ではあまり見ない独特のタッチと色使いが特徴のシートが完成しました。現在、鹿児島県内（鹿児島市、南さつま市、日置市）の住まいる玄工事現場に掲示しています。ぜひチェックしてみてください！



※記載の内容は変更になる場合があります。



住まいる玄

【鹿児島本店】鹿児島市西田2-15-12（1F）

【南さつま店】南さつま市加世田東本町18-9

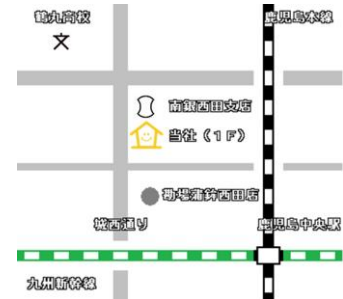
☎ 0120-679-146



smilegen.jp

http://www.smilegen.jp

→ホームページへは、QRコードを読み取ってください



完成！

デザインも機能も住み心地も叶える家 ～霧島市国分 H様邸～

高いデザイン性に加え、無垢の木や塗り壁など、自然素材の心地よさを感じられる家が霧島市国分に完成しました。

若いご家族の住まいらしく、丸みのある開口部や、タイル、アイアンを多用した、暮らすのが楽しくなりそうなデザイン性の高い長期優良住宅です。

玄関戸を開けると、明るく開放的な玄関と、印象的な緑の扉がお客さまを迎えます。玄関からシューズクローク、ウォークインクローゼット、寝室へと続く裏動線がとても機能的。スペースを最大限活用できる、人気の中2階を設けました。広い造り付けのテーブルが作業部屋や書斎などとして、大活躍しそうな予感です。

さらに、飾る物・しまう物を想定しながら作ったニッチや収納棚にも注目です。



↑ニッチやアーチ型の開口、タイル使いに加え、自然素材の良さも感じられるリビングです。



↑廊下に設けたスタディスペース。手前側にキッチン、リビングがあるので、家族の気配を感じつつも集中できそう！



→2階は将来2部屋に分けられるように入口を2か所設けています。

住まいと健康の話①

住環境で寿命や人格が変わるかも？！

住環境と健康は深く関わっていて、住環境によって寿命が変わることがいろいろな研究で実証されています。

交通事故による死亡者数より多いヒートショックによる死亡者数。これは、部屋間の温度差をなくすことで予防することができます。部屋間の温度差をなくすには、壁、屋根、床と窓の断熱をしっかりとし家全体の断熱性能を上げることが何よりも重要です。断熱性能が上がることでカビや結露が少なくなるので、ぜんそくやアトピーの症状も良くなるといわれており、実際に、当社の家に住むご家族様からもそのような声をいただいています。

次に家の構造ですが、右のグラフは、木製、コンクリート製、金属製の巣箱でそれぞれマウスを飼育したときの、生存率と成長を調べたものです。結果は一目瞭然。木製巣箱で飼育したマウスは、圧倒的に生存率が高く、成長も早いことがわかります。

行動にも違いがあり、コンクリ巣箱では「暴れる」「ケンカが目立つ」のに対し、木製巣箱のマウスは「静かで」「おっとり」していたそうです。住環境が、寿命だけではなく人格形成にも影響を与える可能性があるということが分かります。

最近「キレイやすい子供が増えている」、といいますが、コンクリートの学校やマンションなどが増えたことなども影響しているのかもしれませんが。

無垢の木は、調湿性をもち、触り心地や香りなど五感を刺激し、これらがストレス解消につながるため、健康にいいといわれています。デザインも大事ですが、最も長く過ごす場所だからこそ、「素材」についても一度考えてみませんか。

